

寺報

平成31年(2019)正月号第131号(1)

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺

TEL 024(548)1240

FAX 同上

ホームページ <http://www.choshuin.jp/>

e-mail info@choshuin.jp/

編集責任・渡辺 祥文



恭賀
賀
新
禧

専ら祈る所は

正法興隆

修道無難

国土安穩

万邦和平

特に祈る所は

福寿長久

子孫繁栄

諸災消除

諸縁吉祥

切に祈る所は

早期復旧復興

原発廃炉進展

皆々様のご多幸を心より念じ上げます

仏紀二五八五年
邦暦平成三十一年
西暦二〇一九年

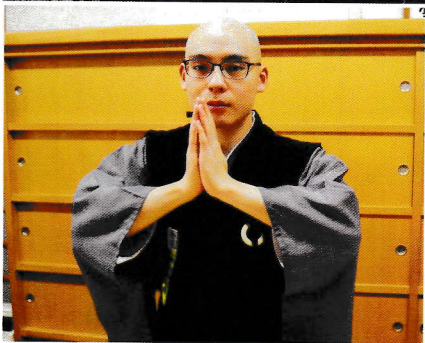
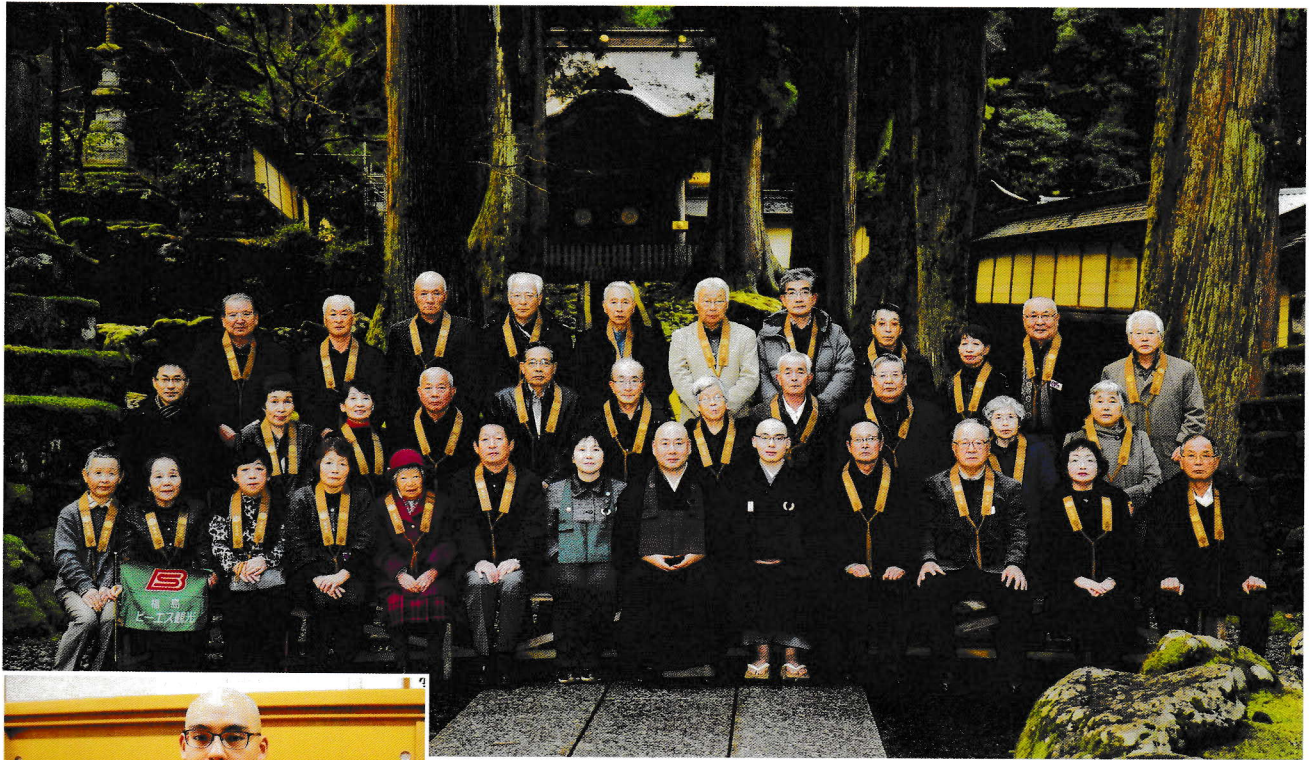
元旦

山



祥





大本山永平寺参拝

秀憲師激励と北陸寺院参拝

平成三十年十二月十二日～十四日

師走も中旬の十二月十二日～十四日まで、長秀院・仲興寺檀中三十三名の皆様で大本山永平寺を中心に参詣拝登の旅に行つて参りました。今般の参拝は去る三月中旬に弟子秀憲を永平寺修行に送り出しましたが、「今年の参拝は、是非永平寺へ」というお言葉を総代長様はじめ皆様から頂き、「秀憲師激励」という副題を頂戴したことでした。師匠といたしましては、本当に有難く、只々感謝申し上げるばかりです。

十二月十二日大本山へ上山、参籠さんろう研修となりました。規矩に則り一泊し坐禅・朝課ちようか（朝のおつとめ）特別供養に参列することは、檀信徒としてとても勝れた修行と位置づけられています。現代は高速道の発展とともに、また各自の知識の広がりにより気軽に参拝できるところとなりましたが、五十年昔は「一生に一度の本山参拝」でしたので、隔世の感があります。とにかく、一泊修行の参拝は特に尊いことです。秀憲もわずかの時間でしたが、皆様にお会いでき満面の笑みで、参加の皆様には修行僧の顔から「ヒデ君」の顔に戻ったと言われました。本人とは私たち父母も十五分ほどの面会でしたが、九ヶ月振りに顔を見ることができました。永平寺という「日本曹洞第一道場」の修行は生涯の財産となります。皆様にも心から感謝申し上げます。

〈住職祥文 拝記〉

平成三十年度

梅花流福島県奉讃大会

平成三十年十月二十六日、郡山市熱海町「ユラックス熱海」において、平成三十年度の県奉詠大会が挙行されました。

長秀院講・仲興寺講ともに登壇奉詠を行い、第一教区としても立派なご奉詠でした。両講の皆さんは常日頃練習に励まれ、立派な登壇奉詠となりました。まさに日頃の努力の賜物でありました。毎回お寺に集って練習を重ね、皆で笑いあい、楽しくお唱えしています。お釈迦さまのみ教え、道元禅師さまのみ教え、瑩山禅師さまのみ教えを、節をつけてお唱えするのが梅花流です。新しい曲に挑戦しお唱えできるようになるのに数ヶ月かかりますが、達成感はとても尊いことです。今年も素晴らしい奉詠大会に参加できたことを、講員一同無上の喜びよろこと感じています。

(寺族 拝記)



除夜の鐘



2018年12月31日

午後11時30分打出し

除夜の鐘を撞きましょう!!

どうぞ、どなたでもおまいりください。おまちしています。先着順に撞いていただきますので宜しくお願いたします。係の方の誘導に従って下さい。

行事案内

★長秀院

十二月三十一日 午後十一時三十分

除夜の鐘打出し

元旦 午前零時三十分

元朝祈禱

★仲興寺

元旦 午前一時三十分

元朝祈禱

以降 一月中、年始回礼

年頭回礼だけでは間に合わなくなつてまいりました。つきましては、年末にご挨拶申し上げます。お宅もでてまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

おねがい

年始回礼中は不在となります。ご相談等の場合はご来山前に確認をお願いいたします。

電話〇二四一五四八一二四〇
FAX 右 同

年回正当

年回正当のほけ様方のご命日をご確認ください。また、ご連絡と貼り出しをご覧頂きますよう、お願いいたします。

年回表

一周忌	平成三十年(二〇一八)
三回忌	平成二十九年(二〇一七)
七回忌	平成二十五年(二〇一三)
十二回忌	平成十九年(二〇〇七)
十七回忌	平成十五年(二〇〇三)
廿三回忌	平成九年(一九九七)
廿七回忌	平成五年(一九九三)
卅三回忌	昭和六十二年(一九八七)
卅七回忌	昭和五十八年(一九八三)
五十回忌	昭和四十五年(一九七〇)
百回忌	大正九年(一九二〇)
百五十回忌	明治三年(一八七〇)
二百回忌	文政三年(一八二〇)
二百五十回忌	明和七年(一七七〇)
三百回忌	享保五年(一七二〇)
三百五十回忌	寛文十年(一六七〇)
四百回忌	元和六年(一六二〇)